

研究所だより

令和4年度 第2号

令和5年 2月22日

室蘭市教育研究所

TEL 22-5059

研究所の活動経過

【授業づくりグループ】

今年度の研究課題「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」のある指導工夫と指導実践

今年度も教職員支援機構(NITS)が作成した「主体的・対話的で深い学びのイメージ図」で示されている、全19個の「実現したい子供の姿ピクトグラム」(右下図)を視点とした授業改善をめざしました。

これらのピクトグラムの姿が児童生徒に表れることで、資質・能力の育成に繋がると踏まえ、「実現したい子供の姿ピクトグラム」を視点とした授業の一部を短い動画にしました。市内の先生方に提供することを通して、今後も授業改善を図ってまいります。

【動画1】 3分15秒

授業 小学6年算数科
「資料の調べ方」

授業者 所員

本時の目標 代表値を比較しながらどの記録が良いか考えることができる。

実現したい子供の姿ピクトグラム

<主体的な学び>

「振り返って次へつなげる」

URL と QRコード

<https://youtu.be/omM32TuA7ao>

【動画2】 3分14秒

授業 小学5年算数科「面積」

授業者 所員

本時の目標 台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考え、簡潔かつ的確な表現を見出している。

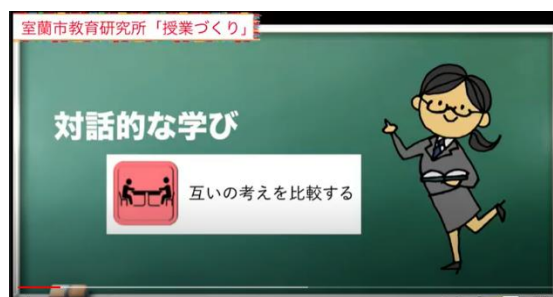
実現したい子供の姿ピクトグラム

<対話的な学び> 「互いの考えを比較する」

URL <https://youtu.be/ZwGoZFWtyK8>

QRコード

NITS【実現したい子供の姿ピクトグラム】		
主体的な学び	対話的な学び	深い学び
 興味や関心を高める	 互いの考えを比較する	 思考して問い続ける
 見通しを持つ	 多様な情報を収集する	 知識・技能を習得する
 自分と結び付ける	 思考を表現に置き換える	 知識・技能を活用する
 粘り強く取り組む	 多様な手段で説明する	 自分の思いや考えと結び付ける
 振り返って次へつなげる	 先哲の考え方を手掛かりとする	 知識や技能を概念化する
	 共に考えを創り上げる	 自分の考えを形成する
	 協働して課題解決する	 新たなものを創り上げる




【ICT活用グループ】 室蘭市ICT活用交流サロン

今年度の研究課題 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

今年度もICT活用グループでは、市内の先生方へ端末活用例を周知することを目的に研究を進めてきました。令和3年度に開設された「室蘭市ICT活用交流サロン」を活用していただけるよう、授業及び日常的な活動への活用に向け、内容の更新に努めてきました。

また、授業実践だけではなく、「校務分掌」や「Chromebook の使い方」を新たなカテゴリーとして追加してきました。さらに、所員以外からの投稿や質問があり、サロンの交流が進むとともに活性化に繋がっていききました。

参加方法は、右のQRコード、又は下記の方法をお願いいたします。

- (1)Google Classroom のトップ画面から、右上  印をクリック
- (2)「クラスに参加」をクリック
- (3)クラスコードに **efpsov4** と入力してアクセスしてください。



今年度、これまでに投稿された活用例を紹介いたします。

令和4年度 室蘭市ICT活用交流サロン 投稿資料(投稿順)	
1	全学年 Google サイトを使って学習ポータルをつくる
2	ジャムボードを使った俳句作りの指導
3	全学年 ドキュメントを活用した係活動のポスター作り
4	「グーグルフォーム」の「チェックボックス」を使って「投票」する
5	スプレッドシートを活用した「教科ごとの単元ふり返しシート」(各教科)
6	フォームを活用した、貸スケート靴必要希望調査
7	サイトを利用した中学理科の授業(他教科でも可)
8	Chromebook の基本的な操作方法についての資料
9	Google フォームを使った健康観察記録の作り方の資料
10	12月26日研修講座のスライド 『ICT活用授業をステップアップさせよう!』

「研修講座」の報告 2022.12.26

今年度の冬季休業中に、「ICT活用グループ研修講座 ～ICT活用授業をステップアップさせよう～」を実施いたしました。ICT活用グループ所員を講師とし、オンライン形式で、20名を超える先生方にご参加いただきました。Chromebook で活用できるアプリケーション kahoot!の説明・実演と、作成や使い方等の実習を通して参加者のスキルアップを図りました。

<受講者の感想より>

- ・参加側はすぐに端末で参加できるのが魅力。授業のまとめの時間や、テスト前の確認クイズなど活用できる場面は多くあると思いました。
- ・教科の内容の復習を遊び感覚で繰り返し取組ませたり、生徒が問題を考えることで、自分の力になるのではないかなど、色々なイメージをもつことができました。
- ・特別支援教育で活用できそうです。



今後も研修会の開催も含め、「ICT活用交流サロン」の参加や交流を図っていく予定です。